

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 10 月 27 日 (2011.10.27)

【公開番号】特開 2010-62973 (P2010-62973A)

【公開日】平成 22 年 3 月 18 日 (2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報 2010-011

【出願番号】特願 2008-227974 (P2008-227974)

【国際特許分類】

H 0 3 H 9/09 (2006.01)

H 0 3 H 9/10 (2006.01)

H 0 3 H 9/02 (2006.01)

H 0 3 B 5/32 (2006.01)

【F I】

H 0 3 H 9/09

H 0 3 H 9/10

H 0 3 H 9/02 K

H 0 3 B 5/32 H

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 22 日 (2011.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベース部と蓋部とを接合することにより形成されたパッケージの内部に、励振電極を備えた圧電振動片を有し、

前記圧電振動片を前記パッケージの内部において支持する支持部材を備え、

前記支持部材は、前記圧電振動片の固定端の側であって、前記ベース部と前記圧電振動片との間と、前記蓋部と前記圧電振動片との間とに配置され、

前記圧電振動片が、前記支持部材を介して、前記ベース部と前記蓋部との互いに対向する面により挟持されて、支持されている圧電デバイスであって、

前記圧電振動片は、前記励振電極と接続された引き出し電極が形成され、

前記引き出し電極は、ワイヤを介して前記パッケージの内面に形成された電極に接続されていることを特徴とする圧電デバイス。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の圧電デバイスであって、

前記ベース部は IC であり、

前記 IC に形成された回路と、前記圧電振動片とが電氣的に接続されていることを特徴とする圧電デバイス。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の圧電デバイスであって、

前記 IC は、前記パッケージの外側に能動面を向けた状態で前記蓋部と接合され、

前記 IC を貫通し、前記能動面に形成された回路とその非能動面とを接続可能な貫通電極が、前記 IC に形成され、

前記 IC の前記非能動面に露出した前記貫通電極が、前記圧電振動片と電氣的に接続されていることを特徴とする圧電デバイス。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の圧電デバイスであって、
前記支持部材は、弾性部材から形成されることを特徴とする圧電デバイス。